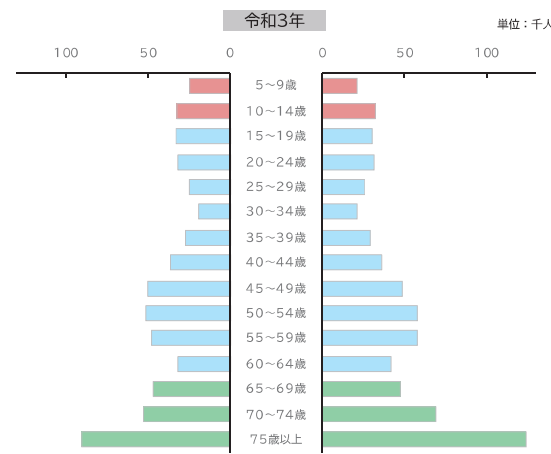
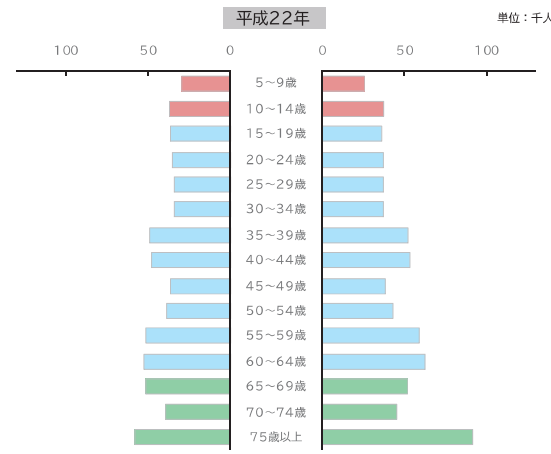
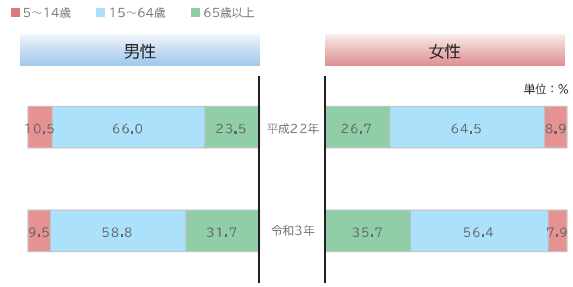


高齢者および若者の動き (1/4)

1 年齢階層別の夜間人口の推移

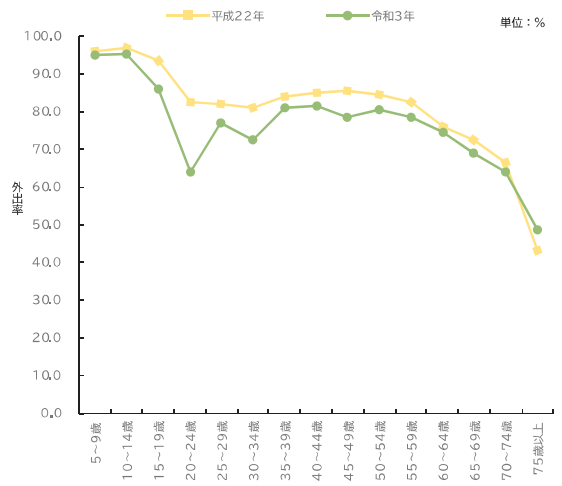
- 平成22年から令和3年にかけての奈良県の夜間人口の推移をみると、少子高齢化が進展しています。
- 5歳以上人口に占める高齢者（65歳以上）の割合は、平成22年から令和3年では8～9ポイント増加し、男女ともに人口の3割以上が高齢者になっています。

図28 性別・年齢階層別にみた夜間人口の推移 (平成22年～令和3年)



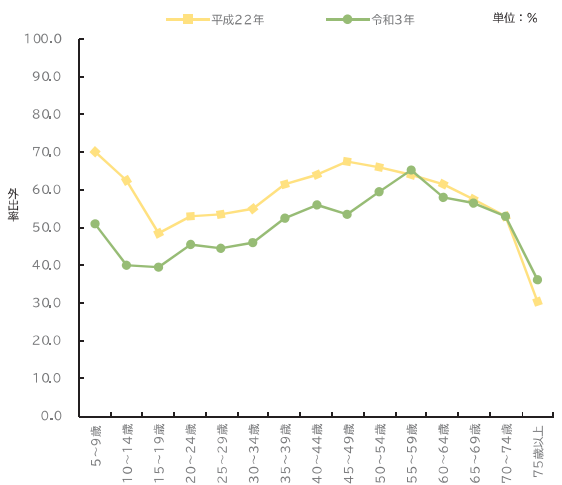
資料：国勢調査（近畿圏パーソントリップ調査の対象年齢）

図29 年齢階層別にみた平日の外出率の推移 (平成22年～令和3年)



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査

図30 年齢階層別にみた休日の外出率の推移 (平成22年～令和3年)



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査

2 年齢階層別の外出率の推移

- 年齢階層別の平日の外出率をみると、74歳以下の全年齢階層で、平成22年から令和3年にかけて外出率が減少しています。
- 75歳以上では5ポイント以上外出率が増加しています。

- 年齢階層別の休日の外出率をみると、ほぼすべての年齢階層で、平成22年から令和3年にかけて外出率が減少しています。
- 55～59歳と75歳以上では外出率が増加しており、特に75歳以上では5ポイント以上の増加となっています。

高齢者および若者の動き (2/4)

3 年齢階層別の免許保有率の推移

- 性別・年齢階層別の免許保有率をみると、平成22年から令和3年にかけて、男性では55歳以上、女性では40歳以上で保有率が高くなり、特に女性の免許保有率が大きく増加しています。
- 一方で、自動車利用の割合をみると、平日で約3ポイント、休日で約4ポイントの利用の増加がみられます。(P04参照)。

図31 性別・年齢階層別に見た免許保有率の推移(平成22年~令和3年)



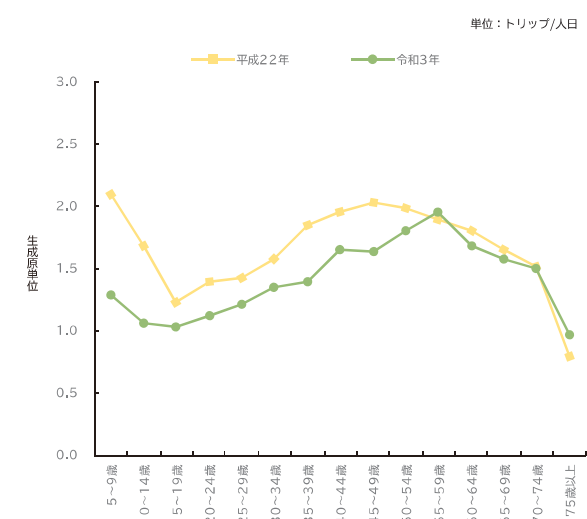
資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査

図32 年齢階層別に見た平日の生成原単位の推移(平成22年~令和3年)



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査

図33 年齢階層別に見た休日の生成原単位の推移(平成22年~令和3年)



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査

4 年齢階層別の生成原単位の推移

- 年齢階層別の平日の生成原単位をみると、74歳以下の全年齢階層で減少し、特に20~24歳で減少が大きくなっています。
- 75歳以上では、約0.1トリップ/人日増加しています。

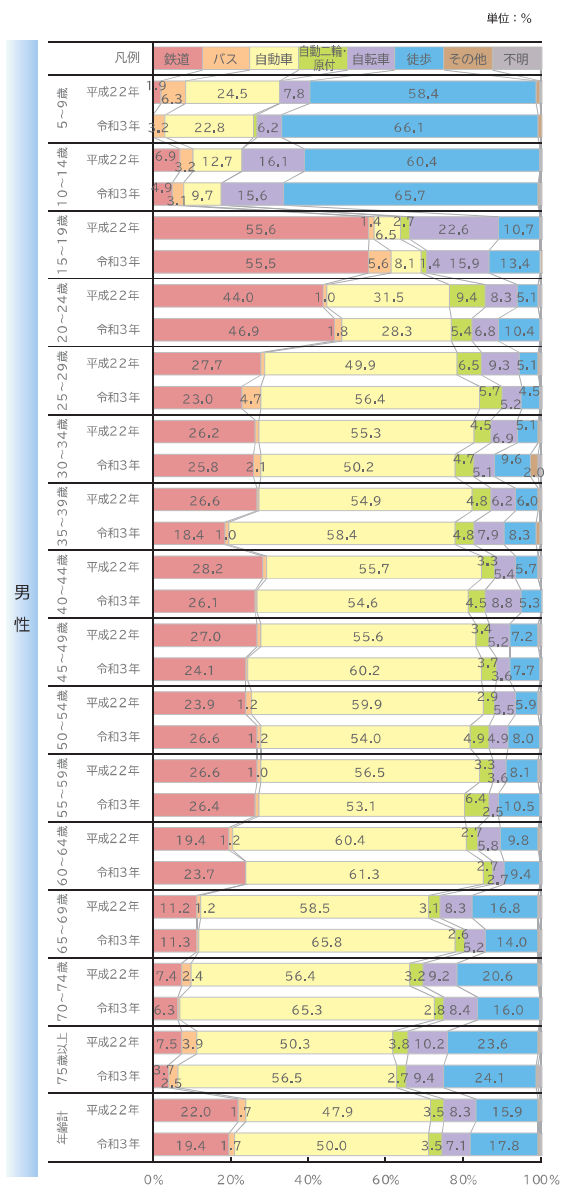
- 年齢階層別の休日の生成原単位をみると、ほぼすべての年齢階層で平成22年から令和3年にかけて減少しています。
- 55~59歳と75歳以上では生成原単位が増加しており、特に75歳以上では0.2トリップ/人日の増加となっています。

高齢者および若者の動き (3/4)

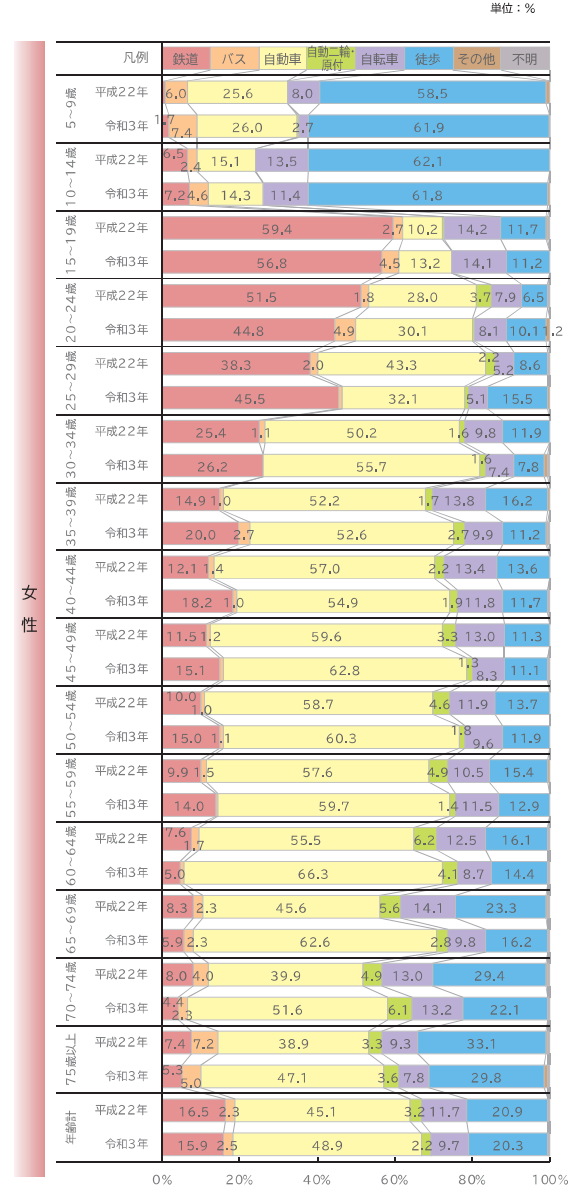
図34 性別・年齢階層別にみた平日の代表交通手段構成の推移 (平成22年～令和3年)

5 年齢階層別の代表交通手段構成の推移

- 性別・年齢階層別の平日トリップにおける代表交通手段の推移をみると、男性の24歳以下で徒歩の割合が増加しています。
- また、男女ともに、60歳以上の自動車の割合が増加しており、特に女性における増加割合が高くなっています。
- 鉄道は、男性の25歳～29歳、35歳～39歳で大きく減少、女性の25歳～59歳で増加の傾向がみられます。



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査



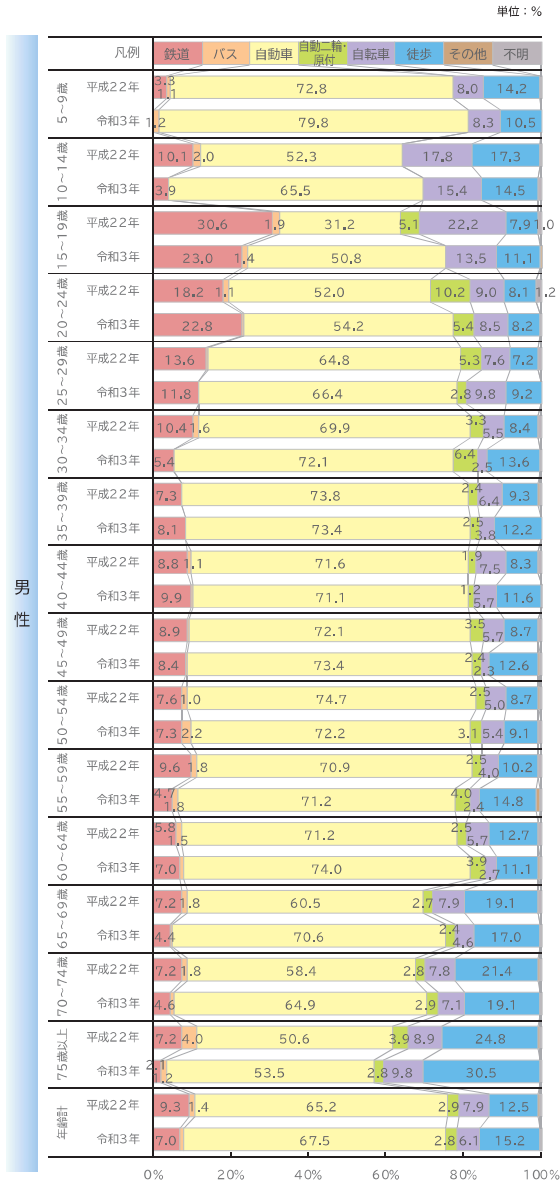
資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査

高齢者および若者の動き (4/4)

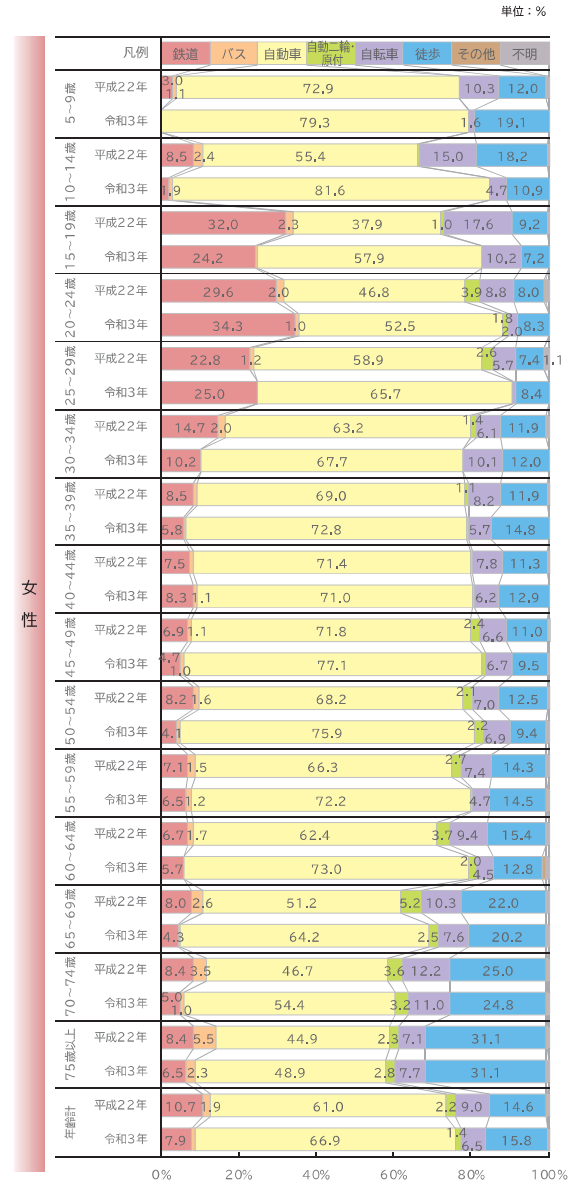
図35 性別・年齢階層別にみた休日の代表交通手段構成の推移 (平成22年～令和3年)

5 年齢階層別の代表交通手段構成の推移

- 性別・年齢階層別の休日トリップにおける代表交通手段の推移をみると、男女ともにほぼすべての年齢階層で自動車の割合が増加しています。
- 特に、5～19歳(学童～生徒)は鉄道の割合が減少、自動車の割合が大きく増加しており、家族での自動車利用の増加がうかがえる結果となっています。



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査



資料：第5～6回近畿圏パーソントリップ調査